



市民の声を市政に反映

杉森ひろゆき

市議会議員 ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行

656号 2017年4月11日

〒300-1235 牛久市刈谷町 1-41-8

TEL・Fax : 870-0335

携帯 : 090-5587-7693

Mail : sugimori@max.hi-ho.ne.jp

急速な少子高齢化の原因

安心できる医療・介護

第1回定例会一般質問 IV

杉森議員は3月8日、第1回定例会で、①非常勤職員の処遇改善、②超高齢化社会に安心できる医療・介護、③福島第一原発事故避難者について一般質問した。今号では②の④を掲載する。

自公政権の無策

【杉森議員の質問】厚労省は、65歳以上の高齢者数が、2025年には3,657万人、全人口に占める割合は30.3%となり、人数的なピークは2042年の3,878万人、全人口に占める割合では2055年に39.4%を迎えると予測しています。また、75歳以上の高齢者いわゆる後期高齢者の全人口に占める割合は、2055年に2,401万人、26.1%と予測しています。

日本の場合、**世界で最も速いスピードで高齢化**が進行していることに特徴があり、問題を深刻化させています。実は65歳以上の人口が7%になったのは、日本の1970年に対し、**フランス**では1864年と、日本より100年以上も前に高齢化問題に直面化しましたが、65歳以上の人口が21%になったのは日本の2007年に対し、フランスでは2023年とまだこれからの話として予想されています。



いのちを守れ！ フクシマを忘れない

さようなら原発全国集会

3月20日、さようなら原発全国集会が東京代々木公園で開催され、1万1千人が参加。杉森議員も、原発いらない牛久の会の仲間と一緒に参加し、集会後には渋谷の中心街をデモ行進しました。

会場には、33のブースが出店し、第1部のさようなら原発ライブには、4組のエンターテナーが演奏し、第2部の本集会では、木内みどりさんの司会、落合恵子さんの主催者挨拶に続き、フクシマ関連報告として福島在住者、避難者、被爆労働者、甲状腺基金、フクシマ連帯キャラバンから。原発関連報告として青森県六ヶ所村核燃サイクル、原発輸出反対キャンペーンから。連帯挨拶を総がかり行動、脱原発首長会議から。最後に鎌田慧さんが閉会挨拶をしました。

スウェーデンでも同様ですが、両国とも適宜な雇用、社会保障、子育て支援などにより、高齢化・少子化をソフト・ランディングさせることに成功しているのです。安倍晋三首相は2月17日の衆院予算委員会で、政権が掲げる「2017年度末までの待機児童解消」の目標の実現は困難との認識を示したと伝えられますが、日本の急速な高齢化の背景には、政府の無策ぶりが透けて見えます。

さて、牛久市で特別養護老人ホームの待機者の数は昨年4月で160名でしたが、要介護2以下が入所資格を奪われ=切り捨てられる中で、10月にはどのように変化したでしょうか。また、要介護3以上の方は現在何人になっているのでしょうか。

特養待機者は149名

【保健福祉部長の答弁】特別養護老人ホーム入居希望者は、2016年11月時点で149名。要介護認定者数は同年12月時点で2592名、そのうち要介護3以上は935名です。

保険給付費増の内訳は

【杉森議員の質問】介護保険料は改正のたびに値上がりし、高齢者の負担を増大させています。牛久市の介護保険料の基準額は現在月額4,800円、県内44市町村のうち安い順で7位、県全体では平均5,204円、一番安いのが美浦村の4,500円です。ちなみに、平均年齢は2017年1月1日現在で牛久市は45.5歳、若い順で同じく7位、県全体では46.5歳です。一番若いのはつくば市で41.4歳と、牛久市の平均年齢よりも4.1歳若いこととなります。

厚労省によれば、保険者ごとに保険給付費の一定割合（全国平均で18%）を65歳以上の第1号被保険者の保険料で賄うこととして

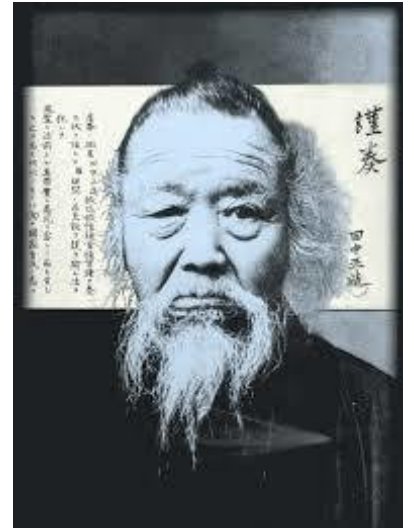


おり、牛久市は2020年度の給付費は72.2億円と見込んでいますが。

日本の公害の原点 足尾銅山鉍毒事件と闘った 反公害の先駆者

田中正造を訪ねるツアー

日本の公害の原点=足尾銅山鉍毒事件と、消滅された旧谷中村、日本の反公害運動の先駆者=田中正造を訪ねて、牛久史談会は足尾銅山、渡良瀬水源地、佐野市の正造生家・資料館等々を巡る、日帰りバスツアーを企画しました。どなたでも参加できます



【日程】5月7日(日) 午前7時40分

牛久駅西口集合、8時出発
午後5時帰還予定

【費用】1人2,000円(昼食は各自)

【申込】杉森も受け付けています

(090・5587・7693)

【締切】定員40名で締切、お早めに

特養2カ所で2億円増

【保健福祉部長の答弁】高齢者数は2016度が22,679人で前年度比586人の増加。認定者数は2016年2,592人と77人の増加です。保険給付費は2016年度の決算見込額が42億7,113万円で、対前年度比3億9,361万円増加すると見込んでいます。増額の主な内訳は、施設介護サービス費が2億2,015万円・16%の増で、市内特別養護老人ホーム2カ所の開設によるもの。居宅介護サービス給付費は6,541万円・5%増、地域密着型介護サービス給付費が1億2,962万円・24%増と見込んでいます。